マルカニュース
Maruka News
70周年記念特別号
マルカモットー 最善の奉仕 SINCERE SERVICE
2016
No.680
12月

2017年度 新キャンペーンの展開にあたって

（竹下社長から全社員に向けた訓示の要旨です。）

マルカキカイは本日より2017年度がスタートします。
今年度のキャンペーンスローガンは、
主題が「マルカ グローバルイノベーション 新たな創造 更なる飛躍」
副題が「未来を拓く 新生マルカ 挑め410」です。

大阪市南久太郎町に創業したマルカキカイは70年で国内10カ所、海外25カ所に営業拠点を展開するビジネスネットワークを構築し、更に「利益循環型の営業」「地域社会や文化に根付く現地化の推進」を目指して「日米中亜 世界四極体制」の枠組みを整えてきました。

今年度は次の80年に向けたスタートの年です。マルカキカイのこれからの10年間がこれまでの10年間の単なる比例的、直線的な発展ではなく、指数関数的な発展を遂げなければ、時代に取り残され衰退の道を歩むことにもなりかねません。2017年は2016年以上にカオスな状況が進み、世界経済で大きな転換が起こる年になる予感がします。マルカグループとしても基盤を創り、そして固める画期の年にせねばなりません。

そのためにも、70年の節目で確認する「時間を越えたマルカキカイ、時代的なマルカキカイ」の視座から日本のみならず世界各地のマルカグループ拠点でイノベーションを起こすことが非常に重要と考えます。

竹下社長

これは「好奇心」の視点と「創意工夫」の知恵を発揮して、わずかな兆候も見逃さず小さな疑問も無視せずに、現状を改善していこう、従来の発想を転換してみよう、と意識することから始まります。これが「新たな創造 更なる飛躍」を生む原点です。

全世界の役職員全員がこの意識で仕事に取り組めば、必ずや次の10年間は輝かしい発展ができるものと確信しています。

私はみなさん夫々の能力の深さに期待しています。何事にも挑み続けることは、自分でも気づかなかった能力を新たに発見する良い機会となります。みなさんには今後も新たな能力が発見できるステージを数多く設定していきたいと考えます。

残念ながら2016年はマルカキカイにとって「アヌス ホリビリス※①」の年に終わりました。2017年は、全員が「アヌス ミラビリス※②」の年にしようとの気概を持って、1年間挑み続けましょう。

相場の格言に「申酉騒ぐ」というものがあります。申年の2016年は波乱に富んだ1年でした。酉年の2017年もいつ何が起こるかわからないという構えで、決して油断することなく自分の持ち場をしっかり守ってもらいたいと思います。

※①ぞっとするような酷い年 ※②素晴らしき年

2017年度キャンペーン

マルカ グローバルイノベーション
新たな創造 更なる飛躍

Maruka Global Innovation
Creating New Opportunities &
Taking Progressive Steps Forward !

未来を拓く 新生マルカ 挑め410
Let's Open up the New Future and Achieve the Aspiration 410

竹下社長からの特別寄稿

マルカキカイは今年12月16日をもって会社創立70周年を迎えます。

歴史を振り返れば、マルカキカイは会社創立の1年前、昭和20年12月に大阪市北区中之島3丁目の地に、創業者の田中嘉助が個人商店として丸嘉商会を興したことが発祥です。翌昭和21年12月に南船場の南久太郎町4丁目の土地63坪、建物30坪の事務所に移転して、資本金18万円、社員12名で丸嘉株式会社を設立しました。事業を始めるにあたり「人生之誠也」「人の和」「梃八人」の三カ条に「健康」を加えたものが会社の社訓とされました。当時の取扱商品は自転車、軸受、工具、和洋紙、新聞原紙、文具、建材など、現在とは大きく異なるジャンルの商品が取扱いの中心でした。23年には貿易部を設けて海外輸出に着手し、30年代には海外に事務所を設け進出を果たしています。

70年間幾多の紆余曲折を経ながらも、諸先輩方が汗と努力を積み重ねてこられたお陰で、現在では資本金14億1,441万円、従業員520名、年間売上高515億円の規模を有する東証一部上場の企業に発展しました。取扱商品も工作機械・鍛圧機械・射出成形機等の産業機械、軸受・油圧機器などの機材部品、クレーン・基礎機械などの建設機械から、保険、物流までと品揃えも広がり、事業組織も国内10拠点、海外25拠点のワールドワイドな営業ネットワークで世界四極体制を構築するに至っています。

70年を人の生涯に例えれば、杜甫が曰く「人生七十古来稀なり」の「古稀」にあたり、孔子が曰く「心の欲する所に従えども矩を越えず」と悟りの境地に至る年齢で、これ以上何も望むべきものはない領域に達したことになります。一人の人間の時間は有限ですが、会社は人間が事業を次から次へと引き継いでいくことで、無限の時間を得ることが可能です。世の中には100年、200年はおろか、1000年以上も続く事業が現存します。マルカキカイも今後更に100年、200年と事業を継続してこそ、社会に貢献する会社として存在意義を歴史に残すことが出来るのです。

我々が歴史を刻む中で失ってはならない視座の土台が『時間を越えたマルカキカイ、時代的なマルカキカイ』です。換言すれば、マルカキカイのアイデンティティである「創業の精神」「事業の意義」を守り通す頑固さと、時代の変化に躊躇うことなく自らを適応させていく柔軟さとを併せ持つことで、創業者の遺訓「変えてはならないもの、変えねばならないもの」に通じる考え方です。

「創業の精神」は社訓の『人生是誠也』です。これは創業当時の経営方針で、終戦の社会混乱に乗じて一攫千金の大儲けを狙うのではなく、地道に真面目に仕事の地固めを進める道を歩んでいこう、と決意した創業者達の理念です。

「事業の意義」は経営基本目標『「個人の幸福」「会社の繁栄」「社会への貢献」の三つが一致する経営を追求する』です。創業者の「同じ釜のめし」の発想で、役職員の全員がお互いに信頼しあい、あたかも一つの家族の如く助け合い切磋琢磨して会社の隆昌発展の為に働くことで、みんなが幸せになると共に、国家社会の為に大いに貢献しよう、という哲学です。

今日のマルカキカイは、日米中亜の四極を起点とする事業のグローバル化が進行し、米国とマレーシアでは現地出身者がトップを務めるに至っています。更にグローバル化を一段と進める上で、「仕事は誠心を尽くして、お客様のお役に立とう。」「我々は同じ釜のめしを食べる家族であり、運命共同体である。」の精神を全世界の役職員が理解し、共有し、行動に移すことが、今後益々必要とされ、マルカグループの求心力を更に高めていく大きな力となります。

これらの「創業の精神」と「創業の意義」が「時間を越えたマルカキカイ・変えてはならないもの」の基軸です。

一方で、創業者が言う「創意工夫」は、今日の「イノベーション」に通ずるもので、「好奇心」の視点と「創意工夫」の知恵で、わずかな兆候も見逃さず、些細な疑問も無視せずに、現状を変えてみよう、発想を転換してみようと常に心掛けて実践すれば、新たな価値が創造されて世の中の激しい変化にも後れを取ることはないという考え方です。この着想で時代が求める新商品、新市場、新領域を事業化し、組織の新陳代謝を図り、新事業進出、他社アライアンス、M&Aに積極果敢に挑むことが「時代的なマルカキカイ・変えねばならないもの」の要諦です。

～創業70周年を迎えて～

マルカキカイが何世代にも亘り事業を受け継いでいく為には、この「時間を越えたマルカキカイ、時代的なマルカキカイ」の「襷」を、確実に次の世代に受け継いでいくこと並びに、それを担える人材を育てることが絶対条件です。一時のブームに踊らされることなく、視座の土台がぶれずに「何を守り、何を変えるか」をしっかりと見極めて、新たな価値創造への道筋をつける実践力を備えた人材を育てることは、経営基本目標の『人は最大の資産である。変革と新しい仕事づくりに挑戦し、起業家精神に満ちた人材を育てる。』ことと同義であり、その時代に生きる我々の最大の責務であると考えます。

この積み重ねがマルカキカイの伝統を育み、今後100年、200年と続いていくマルカキカイの歴史を築く基礎になります。

このことを70周年の節目にあたり、役職員一同がもう一度生まれ変わった気持ちになって、しっかりと心に留め置いて欲しいと思います。

釜江会長の 営業時代のお話

新入社員時代の想い出④

釜江会長

長らくご無沙汰していたユーザーの会長さんを訪問したことで脳裏に蘇った話です。

今から30年程前のことです。愛知県のO社さんに1000トンを超える大型の鍛造プレス機を納入したまでは良かったのですが、いざ加工を始めると予想だにしないトラブルが続いて、いつまで経っても製品の量産が出来る検収まで辿り着くことが出来ません。私にとっても、最終の残金（相当高額）を頂戴できない状況が暫く続きました。

O社社長さんは大変なご立腹で、「機械が悪い。こんな機械はいらん。持って帰れ」とまで言われる始末です。一方、メーカーの支店長さんは強気一辺倒を崩さず「原因は当社ではない。当社の機械をそこまで悪く言われる筋合いなどない。」終いには「機械を引き上げてこい。」と言い始めて、両者一歩も譲らず全く解決の糸口が見えない状況に陥りました。間に挟まれた私は右往左往するばかりです。そのうちにO社社長さんが「今回のことの仔細を内容証明郵便でメーカーの社長に送りつけて裁判沙汰にする。」と言い出し始めました。

これはえらいことになった。なんとかせねば話がもっとややこしくなるとの危機感から、郵送予定の文面コピーを入手してメーカーに強く直訴したところ、問題の解決にメーカーの専務さんがO社社長さんを訪問しようという話になりました。いざO社社長さんを訪問する段になって、急遽マルカで事前に面談の予行演習をやろうと名古屋支店に関係者が集まり、予想される質問への回答と内容の吟味、説明の仕方等を念入りに行いました。その場にはメーカーの支店長さんも同席していたのですが、専務さんから「君は一緒に来なくてよろしい。強気一辺倒ではまとまる話もまとまらない。」と言われ、訪問には同行しませんでした。

メーカーの専務さんがO社社長さんを訪問してくれたお陰で、お互いの関係が氷解に向かい、問題解決の方向に動きだす切っ掛けになりました。マルカも出入り禁止になることもなく、今日までお取引をいただいています。

先日のO社さん訪問の際に、現在の会長さん（当時は専務さん）がこの事情を良く覚えておいでで、当時を懐かしく思い出しながら昔話に花が咲くと共に、工場では当時の問題を起こしたプレスが現在でも元気に動いているのを見て、非常に深い感慨を覚えました。

これが私の今までで一番大きなトラブルの話です。

マルカグループの今を支え未来へつないでいく日米中亜四極の責任

マルカキカイ株式会社
営業統括
二橋常務取締役

創立70周年を皆様と一緒に迎えられる事はこの上ない喜びです。ただ我々は現状に止まることなく、「人生是誠也」の社訓に則り今後も変革を続け、本日より次の100周年に向け新たな一歩を踏み出さねばなりません。

夢を共有でき、また「社員の幸福」と「会社の繁栄」の調和がとれる企業創りに全社員と汗を掻いて参りたいと思います。

マルカキカイ株式会社
グローバル機材本部長
神田執行役員

SRR(Sincerity誠実、Revolution変革革新、Respect相互尊重)と安定売上利益拡大の実現を愛=果ての無い地道でひたむきな努力で目指します!

マルカキカイ株式会社
産業機械本部長
真鍋取締役

お客様、仕入先様の業容が大きく変化する中、従来の技術・販売を極めるだけでなく、今までと異なる価値観により世の中が変革していく時代に突入しています。

当社も創業以来培ってきた営業DNAに甘んじず、新市場、新商品の開拓とともに会社の付加価値を高め、市場に圧倒的な強みを持つ企業を目指して努力して参りたいと思います。

マルカ・アメリカ社
Lowery取締役社長

"Our Goal is Your Success" is MU's theme to customers. I believe maintaining this attitude and continuing to seek new products and services will help us expand business to support Maruka Group's global growth and success.

マルカキカイ株式会社
産業機械副本部長
難波取締役

全拠点業績UPの為にも、産機本部があらゆる方面でバックアップし、力が発揮出来るような環境作りにもっと励んでいきたいと思います。

中国事業は早期復活を目指すのみ!!

マルカ・メキシコ社
安田取締役社長

同社は、海外現地法人の中で最も新しい拠点ですが、日系企業(特に自動車関連企業)の同地への積極的な投資拡大により収益機会は十分。4名の駐在員とメキシコ人スタッフで総力をあげ、それを摘み取り、5年後、10年後には、海外現法ナンバーワンになることを目指します。

マルカキカイ株式会社
管理本部長
飯田取締役

輝かしい70年の歴史の中で上場して20年弱。言わばようやく成人。コンプライアンス、コーポレートガバナンス、IFRS等々、課題は盛り沢山。業績向上はもとより、信頼される企業であり続けること。誠心(まごころ)こそ信用の源泉であり、100年企業になるために、率先垂範まず行動が管理本部に求められている。

マルカ・上海社
碇総経理

マルカキカイ70周年は社員一同、会社の利益に貢献出来るよう努力してまいります。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

マルカキカイ株式会社
建設機械本部長
砂河執行役員

創立70周年、誠におめでとうございます。建機本部を取巻く環境は、堅調な国内需要に支えられていますが、同時に需要の変化、とりわけ「i-Construction」の波も起こっております。

トータルシステム化、ITソリューションを先取りし、長い歴史の襷を繋ぎ、本部全員一丸となり、次の100周年に向かって未来に邁進していきます。

マルカ・広州社
長尾総経理

中国現法は、事務所設立から16年が経過しました。中国はまだまだ発展の余地があり、新しいビジネスの仕組に主体性を持って取り組んで行きます。

会社の発展だけではなく、従業員の幸福や社会への貢献ができるバランスの取れた現法にして行きます。

者から70周年を迎え、これからの決意や抱負を語って頂きました!

マルカ・タイ社
黒澤取締役社長

当社東南アジア現法のリーディングカンパニーへの復帰、その反攻に備え、人材育成、各種プロジェクトの立ち上げに一層注力してまいります。

また事務所開設以来、半世紀を超えて、お世話になってまいりましたタイ王国への地域貢献と現地化を目指します。

マルカ・インド社
田川取締役

ナマステ（こんにちは）インド社は設立9年目です。世界5番目の自動車生産大国インドは、今後益々の発展が期待できます。当地進出をご検討の際には、是非お声をかけて頂きますよう宜しくお願いいたします。

インド中心都市の南部チェンナイ＆バンガロール、西部のムンバイ、グジャラートに支店開設を目標に頑張ります!

マルカ・エクスポート社
中島取締役社長

2014年タイに創設された会社で、スタッフともども若い会社です。

毎日未経験の対応に追われていますが、タイ特有の「マイペンライ」精神を良い方向に活用し持ち前の若さと合わせて、明るく乗り切っています。売上目標達成で従業員一人当たりの売上高トップを目指します。

マルカ・ベトナム社
冨田取締役社長

現地法人設立から3年が経ちハノイ・ホーチミン両拠点で、日本人4名、ベトナム人11名の規模になりました。

産業機械を柱に、食品機械、建設機械も販売する機械総合商社を目指しています。アフターサービスにも力を入れ、お客様、メーカー様双方から信頼される会社作りをしています。

マルカ・インドネシア社
三好取締役社長

当地では主力である4輪2輪は一部多忙な車種もあり、生産を押し上げていますが、まだまだ回復とは言い難い状況にあります。その中で今一度原点に返り営業の基本である訪問件数、新規開拓を実践しお客様、メーカー様から「この人なら任せられる」、「この会社なら任せられる」と言われる存在価値が認められる活力ある会社になるため一丸となり頑張って参ります。

ソノルカエンジニアリング㈱
谷口取締役社長

当社は「高品質な製品を、高効率で生産する設備」という永遠のテーマのもと、時代の変化とともに生まれる様々なユーザーニーズを積極的に取り入れながら、培った経験で常に最適な製品作りを追求しています。

より強くより美しく、優れたコストパフォーマンスと革新性を備えた機能的な設備を提供することに日々研鑽しています。

マルカ・マレーシア社
Chan取締役社長

創立70周年おめでとうございます。1996年に期待と希望を抱き、マルカ・マレーシア（MK）に入社し早20年経ちました。2010年よりMKの社長になり、責任感及び使命感は更に一層強くなりました。

希望と不安が交錯する中で、毎年MKの実績を積み重ねる事を目標にしています。この先80年90年と続くマルカキカイとともに、これからもMK全員一丸となって頑張っていく所存です。

ジャパンレンタル㈱
髙岡取締役社長

70周年おめでとうございます。弊社も平成15年より子会社となり国内グループの一員として安定した業績を目指し鋭意努力しております。

この節目の年に縁あって10月に新社屋を竣工し、改めて社員一同新たな気持ちで社業の発展に努める覚悟と業界では常にパイオニア的存在になって君臨できる事を目指していきたいと思います。

マルカ・フィリピン社
吉田取締役社長

フィリピンの経済発展と共にマルカフィリピンは成長していきます。工場設備に関する提供、この地で51年培ったサービス、情報で益々ユーザー様の満足度を上げていきます。またこれから建設部門にも力を入れ、更なる経済発展に貢献していきます。変わらぬ御支援宜しくお願い致します。

㈱管製作所
管取締役社長

管製作所は、平成28年4月にマルカキカイグループとなりました。それに伴い平成29年4月に新工場が完成します。規模は現在の凡そ3倍に5年後に、現在の売上の2倍を目指しております。

当社も40周年を迎えました。共に業界No1を目指し、より一層のシェア拡大を目指します。

マルカアーカイブス

暫しタイムスリップを

創立15周年記念　旧豊後町本社2階　1961（昭和36）年11月18日

最前列左より8人目　創業者　田中嘉助

1969（昭和44）年　第3期キャンペーン　旧社屋中庭
栄光へのスタート

1970（昭和45）年　キャンペーン　旧社屋中庭
5:5 plan　わんわん大行進

1946年12月（昭和21年）

丸嘉株式会社設立
資本金18万円
大阪市東区南久太郎町4-10
紙・毛織物・自転車・軸受・工具などの
国内販売及び各種商品の輸出入を行う

1955年（昭和30年）

機械部門を発足し
工作機械・鍛圧機械
の取扱を開始

1956年9月（昭和31年）

本社を大阪市東区
豊後町41番地に移転

1959年11月（昭和34年）

タイ・バンコク駐在
事務所を設置
海外駐在開始

1962年1月（昭和37年）

商号を丸嘉機械
株式会社へ変更

1963年1月（昭和38年）

インドネシア・ジャ
カルタ駐在事務所
を設置

1947（昭和22）年頃　丸嘉株式会社事務所前

1952（昭和27）年頃
増築された事務所

1962（昭和37）年頃
旧豊後町本社ビル

1964（昭和39）年
サイゴン事務所前入口

創立20周年記念　於 太閤園　1966（昭和41）年11月3日

創立25周年記念　於 旧本社中庭　1971（昭和46）年11月

創立35周年記念　於 現本社 倉庫展示室　1981（昭和56）年5月27日

創立40周年記念　於 有馬温泉　1986（昭和61）年6月7日

1970（昭和45）年4月10日　MSDTアメリカ工場視察見学
MSDT：Maruka System Development Team

マルカアメリカ社　1970（昭和45）年
米国工作機械展　MERCURY旋盤

1957（昭和32）年9月　相互会会誌
（マルカニュースの前身）創刊号

1966年2月（昭和41年）
アメリカ・ニューヨーク駐在事務所を設置

1970年2月（昭和45年）
現在の商号マルカキカイ株式会社に商号を変更

1981年4月（昭和56年）
本社を現在地大阪府茨木五日市緑町2番28号に新築移転

1998年9月（平成10年）
大証2部に上場

2000年8月（平成12年）
東京支社
マルカ日甲ビル取得

2008年5月（平成20年）
東証1部単独上場

2012年10月（平成24年）
米国インダストリアル・ツール社孫会社化

ニューヨーク駐在事務所内
1972（昭和47）年　The Graybar Building

旧豊後町本社移転直前

茨木本社移転直後

マルカ日甲ビル

※誌面の写真はOB会を通じて貴重な歴史的な写真をご提供頂きました。
OB会並びにOBの方々にはこの誌面をお借りし厚く御礼申し上げます。

創業70周年を迎えたマルカグループの創業時を支え発展期に尽力された乾特別顧問から社員へのメッセージを頂きました。

マルカキカイはこの12月で創立70周年を迎えることになりました。
誠に喜ばしい限りです。

私達はこれに安住することなく、今後とも力強く発展し続けていこうと決意を新たにしましょう。70年間には当社と比較にならない程大きく発展した企業も数多くあります。今の状況で十分だと慢心してはなりません。一面で倒産した会社も数えきれない程たくさんあります。栄枯盛衰は世の習いと言われますが、時代の変遷の中で事業を維持拡大していくことの難しさを改めて感じます。又、人生は有限であるが、事業は無限であると言われています。節目を迎え気持ちも新たに次の80周年に向かって、更に躍進するよう頑張りましょう。

マルカキカイは終戦直後にスタートした会社であります。当時敗戦による生産設備の壊滅状態と資源を持たない日本国が、発展していく手段は貿易しかないとの戦略を描き、早くから貿易部を設けて輸出業務を手掛けました。又、海外ビジネスの将来性に着目し、ベトナム、タイ、インドネシア、アメリカに昭和30、40年代から事務所を開設して、海外ネットワーク構築の種蒔きを積極的に行ってきました。これらが今では大きく実を結び、現在の4極体制の礎となっています。

取扱商品は設立当初の主力だった自転車、繊維、紙文房具等から、時代の流れに沿って工作機械、鍛圧機械、射出成形機、建設機械に軸足を移し、海外拠点ごとに異なっていた取扱商品を統一化する改革を行ってきた結果、今日では「世界のものづくりに貢献するマルカキカイ」を謳い文句に、産業機械部門、建設機械部門を主力事業として、海外売上げが50%を超えるに至っています。更に今後を見通せば、国内だけでなくグローバルな視点から、農業機械や食品機械が有望な市場であり、ロボットは幅広い分野で加速度的に導入が進んでいます。この分野に力を入れることが、事業拡大の要になると思います。

マルカキカイの歴史でも、ご多分に漏れず幾多の荒波に直面してきましたが、その度に社員一同の必死の努力のおかげで、その難局を乗り越えてきました。

この70周年は一つのゴールではなく、節目の通過点です。折れない強い竹にはしっかりとした節目があります。節目を強くすることによって、企業体も強くなると思います。この70周年を80周年、90周年、100周年の未来に向けた新たなスタートラインにしてください。

現代は、ものすごいスピードで世の中が変化しています。変化に振り回されず目先に囚われず、しっかりと将来を見据える先見力を持ち、変化の本質を捉えて自身の改革を図らなければ生き残れない時代です。

事業にとって「変えてはならないもの、変えるべきもの」があります。マルカキカイの「変えてはならないもの」は、社訓の「人生是誠也」つまり、誠実をもってお客様に貢献することです。「変えるべきもの」は、戦略、マーケット、機能、組織等であり、そして私たち自身です。世の中に必要なもの、なくてはならないものは繁栄するが、存在の必要性が薄れたものは衰退することは世の道理です。私たちが世の中に必要な存在、お客様に貢献する存在になることを忘れてはなりません。

私たちは、もうこれで十分と思って満足したり、これ以上はもう無理だと諦めることがあっては決して変わることが出来ません。変わろうとする強い意志と、上を目指そうとする向上心が人生の推進力となり、ひいては会社を発展させる原動力になります。困難への挑戦は、例え結果が失敗に終わったとしても、経験が後々の困難への突破力になります。

最後に、全員がマルカキカイの未来に対する「夢」を持ちましょう。
80周年、90周年、100周年が輝かしい年となるように、社員全員が一丸となって「マルカの夢」を追い求めれば、その夢はいずれは叶い、現実のものになるとの信念を持ち、日々の仕事に取り組みましょう。
Dreams come true

70周年は通過点

100年続くサステナブル（持続可能）な企業になるために

マルカグループには創業者　田中嘉助の「人生是誠也」のサステナビリティ（持続可能性）が原点に宿っています。100周年ではマルカグループの経営の中核を担う若い社員達にお客様・従業員・取引先様・株主様・社会・環境の6つの視点から100年持続可能（サステナブル）な企業になるには何が必要か？マルカグループの未来に繋がる夢と希望を描いて語ってもらいました。

常に先を見据えて、社会や環境の変化に柔軟に対応できる会社になる。

繊細かつ迅速な対応を！女性の強みを最大限に活かしたパフォーマンスを発揮しフレッシュな明るい会社でいる。

全社員が会社・成功・社会を考慮したプランニングを続けられること。

お客様・お取引先様・従業員の皆様から信頼を得るよう株主様や社会に貢献できるよう日々の業務をこなした自分自信の成長。

社員のモチベーションが向上する能力を発揮できる環境を整え、次世代につなげられる人財育成。

夢と希望を与えられる企業でいること。

全てのステークホルダー（取引先・株主）様との長期的なWIN-WINの信頼関係の構築。

自分の能力を活かしきる。

「異文化適応力」「日本のクオリティ」をアピールして世界から求められる会社にしよう！

お客様に求められる会社である為自己研鑽を忘れないこと。

地域密着共生活動でき環境負荷低減できる仕事への取組み。

ステークホルダー様への「安心」を与えられる会社になること。

現状に満足せず、常に創意工夫する。

ワクワクし元気で勢いのある会社でいること。

取引先・従業員・社会の共存共栄を追求し社会の変化に対応し続ける。

営業を支え、会社の上場を継続するためにマルカに関わる法令等の変更には注意を払う。

マルカキカイ グループ
2017　上期役割決定

◎四極営業本部

○	日本（産業機械本部、グローバル機材本部、建設機械本部）		
○	米州営業本部	統括本部長	**嶋林　直人**
○	中国営業本部	統括本部長	**長尾　学**
○	東南アジア・インド営業本部		
		統括本部長	**三好　辰夫**

マルカキカイ株式会社

◎本部機構

【Ⅰ】産業機械本部			
	本部長		**真鍋　聡**
	副本部長		**難波　経久**
【Ⅱ】グローバル機材本部、台北支店			
	本部長		**神田　晃三**
【Ⅲ】建設機械本部　本部長			**砂河　利文**
【Ⅳ】東京支社　支社長		（ケ）	**二橋　春久**
【Ⅴ】管理本部			
	本部長		**飯田　邦彦**
	副本部長		**若田　芳弘**
【Ⅵ】経営企画室			
	担当役員	（ケ）	**二橋　春久**
	室　長	（ケ）	**髙木　修**
【Ⅶ】内部監査室　室長			**荻野　純一**
【Ⅷ】海外統括室　室長			**久冨　周二**
【Ⅸ】秘書室　室長			**佐藤　壮彦**

【産業機械本部】

1.	大阪産業機械第一部　部長		**新谷　英明**
2.	大阪産業機械第二部　部長		**渡辺　貴久**
3.	東京産業機械第一部　部長		**斉藤　正隆**
4.	東京産業機械第二部　部長		**熊谷　了輔**
5.	名古屋支店　支店長		**栗栖　俊彦**
6.	名古屋産業機械第一部　部長		**深水　亮**
7.	名古屋産業機械第二部　部長	（ケ）	**栗栖　俊彦**
8.	岡山支店　支店長		**大泉　泰宏**
9.	福岡支店　支店長		**金子　哲成**
10.	静岡支店　支店長代理		**佐野　力哉**
11.	自動車部品部　部長		**髙木　修**
12.	プラスチックモールディング&ダイキャスティング　ソリューション部　部長		**伊東　哲也**
13.	特販部		
	部長（名古屋駐在）		**徳山　克志**
	部長（大阪駐在）		**山口　旨博**
14.	フードシステムソリューション部		
	部長		**宇都　茂樹**

【グローバル機材本部】

1.	FA機器営業部　部長		**吉田　栄利**
2.	国際営業部　部長		**有吉　俊雄**
3.	台北支店　支店長		**中嶋　栄男**

【建設機械本部】

1.	大阪建設機械部　部長	（ケ）	**砂河　利文**
2.	堺レンタルセンター　センター長		**島津　二彦**
3.	東京建設機械部　部長		**岡村　慶太**
4.	東北支店　支店長		**小関　徹**
5.	福岡支店　支店長	（ケ）	**金子　哲成**
6.	建機輸出部　部長	（ケ）	**砂河　利文**
7.	シンガポール事務所　所長		**Lim Hock Chye**
8.	保険部　部長	（ケ）	**砂河　利文**

【管理本部】

1.	総務部　部長	（ケ）	**若田　芳弘**
2.	財務部　部長	（ケ）	**若田　芳弘**
3.	経理部　部長		**西本　和彦**
4.	業務部　部長		**加納　敬司**
5.	業務部大阪産機・機材　部長	（ケ）	**加納　敬司**
6.	情報システム部　部長		**田村　佳照**
7.	広報室　室長	（ケ）	**若田　芳弘**
8.	法務部　部長	（ケ）	**加納　敬司**

ソノルカエンジニアリング株式会社

取締役会長		**釜江　信次**
取締役社長		**谷口　徹**
[1] 統　括		
	営業統括本部長	**高守　孝一**
	技術統括本部長	**本國　積**
	設計統括本部長	**永野　和弘**
	冷温システム本部長	**諏訪　敦哉**
1.	業務部　部長	**中村　四郎**
2.	営業部　部長	（ケ）**高守　孝一**
3.	調達部　部長	**谷口　徹**
4.	検査・品質保証部　部長	**津田　栄三**
5.	サービス部　部長	（ケ）**本國　積**
6.	設計部　部長	（ケ）**永野　和弘**

7. 冷温システム本部		
(1) 営業部　部長	(ケ)	**諏訪　敦哉**
(2) 業務部　部長	(ケ)	**中村　四郎**
(3) 製造部　部長	(ケ)	**諏訪　敦哉**

ジャパンレンタル株式会社

取締役社長		**髙岡　幸一郎**
取締役兼執行役員		**小塚　芳子**
1. 総務・経理部　部長		**小塚　芳子**
2. 営業部		
統括部長		**甲田　藤信**
部長		**高山　幸雄**
3. フロント業務部　部長		**新居　真二**
4. 車輌管理部　部長	(ケ)	**甲田　藤信**

株式会社管製作所

取締役社長		**管　信良志**
取締役工場長		**吉田　吉幸**
1. 総務部　部長		**伊藤　博夫**
2. 営業部		
係長		**奥山　学**
係長		**細谷　欣之郎**
3. 製造部		
(1) 組立課　主任		**尾形　修宏**
(2) 加工課　係長		**大貫　雅彦**
(3) 開発設計課　係長		**村山　正義**
(4) 電気設計課　係長		**村形　貴之**

【米州営業本部】

1. MARUKA　U.S.A.　INC. (マルカ・アメリカ社)		
取締役社長		**Gary D.Lowery**
副社長		**嶋林　直人**
取締役		**竹下　敏章**
2. INDUSTRIAL　TOOL,INC.		
取締役会長		**Gary D.Lowery**
最高経営責任者 兼最高財務責任者		**Richard C.Lueck**
取締役		**嶋林　直人**
取締役		**飯田　邦彦**
3. MARUKA MEXICO S.A. DE C.V. (マルカ・メキシコ社)		
取締役社長		**安田　洋祐**

【中国営業本部】

1. 上海丸嘉貿易有限公司		
董事長		**難波　経久**
総経理		**碇　宏一朗**
無錫営業所長	(ケ)	**碇　宏一朗**
総経理(天津分公司)	(ケ)	**難波　経久**
2. 広州丸嘉貿易有限公司		
董事長		**難波　経久**
総経理		**長尾　学**

【東南アジア・インド営業本部】

1. MARUKA MACHINERY (THAILAND) CO.,LTD. (マルカ・タイ社)		
取締役社長		**黒澤　淳一**
取締役		**三好　辰夫**
ピントン支店長		**有沢　悟**
2. MARUKA EXPORT (THAILAND) CO., LTD. (マルカ・エクスポート社)		
取締役社長		**中島　勝矢**
取締役		**黒澤　淳一**
3. P.T. MARUKA INDONESIA (マルカ・インドネシア社)		
Komisaris		**竹下　敏章**
President		**三好　辰夫**
4. MARUKA (M) SDN.BHD. (マルカ・マレーシア社)		
取締役社長		**Chan Kok Leong**
取締役		**竹下　敏章**
営業第一部　部長		**龍野　浩二**
5. MARUKA ENTERPRISES INC. (マルカ・フィリピン社)		
取締役社長		**吉田　雅樹**
取締役		**三好　辰夫**
6. MARUKA INDIA PRIVATE LIMITED (マルカ・インド社)		
取締役社長		**黒澤　淳一**
取締役		**田川　聡**
7. MARUKA VIETNAM CO.,LTD. (マルカ・ベトナム社)		
取締役社長		**冨田　昌孝**
取締役		**黒澤　淳一**
取締役		**真鍋　聡**

マルカの動き　9月～11月

動　き

9月　1日 ： 新キャンペーンオープニング
10月　4日 ： 2017年新卒者内定式
10月　5日 ： 第3四半期決算発表
10月19日 ： 本社35歳未満対象定期健康診断

表　彰

○殊勲賞

大阪産業機械第二部

静岡営業所

○一般表彰

【安全保障輸出管理実務能力認定試験】

谷口　大樹　　産業機械本部　船積業務

社内情報セキュリティ研修を実施いたしました。

11月16日（水）本社、東京、中部支社がTV会議にて近年のサイバー攻撃の巧妙化、社内での迷惑メールの増加を踏まえて情報システム部による社内情報セキュリティ研修が実施されました。

【内容】
・近年の迷惑メールの特徴（10分程のビデオにて確認）。
・社内の迷惑メール状況及び受信した際の注意点。
・ウイルス感染が疑われる場合の対処方法。
・外出時のPC管理。
・社内情報セキュリティに関する方針について。

他拠点に関しては、別途研修日程をご案内いたします。

2017年新卒者内定式＆2016年度フォローアップ研修の実施

10月4日(火）に2017年度新卒者の内定式を執り行いました。冒頭、竹下社長から内定者へ「社歌にある「創意工夫」に通じる、「Think Different」（多方面から色々な発想をすること）を意識して残りの学生生活を過ごしてもらいたい」と、内定者へ厳しくも期待を持った言葉を贈り締めくくりました。内定者は緊張した面持ちではありましたが、それぞれが入社までに取り組むことや入社後の抱負などの自己紹介を行いました。20～21日には2日間にかけて、2016年新卒入社の新入社員を対象にフォローアップ研修を開催致しました。初日は営業ロールプレイングや貿易実務・販売管理規程、コンプライアンス研修など、社内講師による盛り沢山のカリキュラムを実施しました。

（内定式　辞令授与）

（大阪建設機械部　塩川主任をユーザー役に見立て新入社員による自社説明・PR中）

他の新入社員が行う自社説明・PR方法を客観的に観察することでお互い良い刺激を受ける時間となりました。その後の貿易実務や販売規程の研修では実際の仕事での疑問点を解消し、処理事項を確認することができ新たな知識も習得いたしました。

2日目は、りそな総研の社外研修に参加し「報連相」と「聴くスキル」に焦点をあてコミュニケーションを中心にした基礎力を向上させました。今後より一層飛躍することを期待します。

（営業会議冒頭　日本からの出席者の紹介）

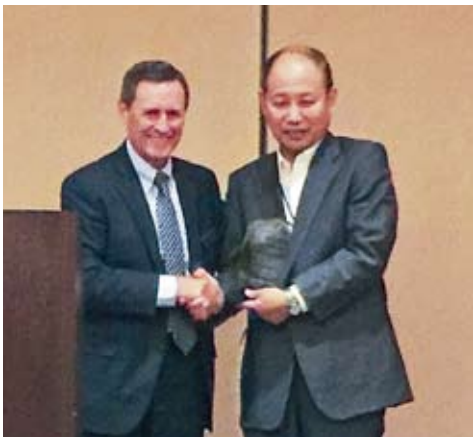
“Maruka / Toyo 5000 Celebration” in Las Vegas !

東洋射出成形機・米国販売5000台達成記念行事を開催!（MU）

On October 7, we held the “Maruka / Toyo 5000 Celebration” event in Las Vegas, USA, with the honorable attendance by President Sogame of Toyo Machinery & Metal (“Toyo”) and President Takeshita of Maruka Machinery (“Maruka”). It was to celebrate the achievement of a milestone of selling 5000 Toyo machines in USA since the first machine sale in 1985. MU’s MI Division staff, Salesmen, and Sales Representative Companies participated in a Sales Meeting where Toyo gave a presentation on their new machine and technologies and the participants had enthusiastic discussions. Then, we had a very friendly party-style celebration where 2015 “Top Salesman” and “Top Sales Representative” were awarded. We surely believe it was a very good opportunity for both Maruka and Toyo to reaffirm the solid bond between and the strong will for the next milestone and beyond.

10月7日、日本より東洋・十亀社長／マルカ・竹下社長をお迎えして米国・ラスベガスにて「米国／東洋機販売5千台達成」記念行事を開催しました。MUが1985年に1台目を販売して以来約31年で迎えた節目を記念するものです。MU射出成形機部門の社員と代理店セールスマンが一堂に会した日中の営業会議では、東洋殿から新製品や新技術のご紹介をいただいたのをはじめ、活発な議論が交わされ、夜の記念パーティーは2015年の営業成績優秀者（個人・団体）や優良協力企業の表彰を含めて和やかなものとなりました。マルカ／東洋の信頼関係を再確認し、販売を6千台、1万台へと繋げて行く気持ちを新たに出来た、絶好の機会でした。

（嶋林 記）



（Lowery社長（Maruka USA）・十亀社長（東洋機械金属㈱））

（竹下社長による式典スピーチ）

T・O・P・I・C・S

BCP代替輸送訓練（図上訓練）への参加

内閣府、北陸地方整備局、特定非営利団体法人、危機管理対策機構の共催による代替輸送訓練に山口部長・寺本部長・熊谷部長・後藤課長・大城課長・福岡課長・谷口(大)社員が参加いたしました。

今後発生が危惧される災害に対して、供給先への代替輸送ルートを確保しサプライチェーンを維持する代替戦略が必要です。訓練で養う3つの力は、①サプライチェーンを維持し、国際競争力を維持するための被害想定に縛られない発想力。②被災時の利益を考えた戦略力。③情報を持たない判断力です。今後も営業・業務・管理一体でお客様取引先様からの企業評価を高めビジネスに繋げ受注に結びつけていきたいと思います。

（名古屋商工会議所　10/5）

（大宮ソニックシティ　10/25）

2016年　秋の交通安全講習会実施

CSR（企業の社会的責任）の重要な役割を果たす安全に対する取組として本社・中部・東京支社・ジャパンレンタル、静岡営業所、ソノルカエンジニアリングでKYT（危険予知トレーニング）を重点に置きドライブレコーダーの動画を多く使い、危険予知を身につけ対応が分るカリキュラムを組みました。

危険な状況を出来るだけ多く予測し、回避方法をグループ討議で発表してもらいました。認知⇒予測⇒判断⇒操作のヒヤリハットを多く疑似体験することで、危険な状況とは何かを理解し効果的な判断が行えます。

今年も日本カーソリューションズ様と協働で実施しました。リスクマネージメント部須佐次長様はじめ営業担当の古川様にはこの誌面を借り厚く御礼申し上げます。

（本社）

グループ発表の様子　（中部支社）

本社・東京支社で消防訓練を実施致しました。

10月13日（木）本社４階ラウンジからの出火想定による消防総合訓練を実施いたしました。階段からの避難、駐車場での点呼、安否確認後、水消火器を使い消火訓練を茨木消防署下井分署様のもと実施いたしました。

東京支社は11月10日（木）に、マルカ日甲ビルテナント様と合同で防災DVD視聴による①自衛消防力の向上、②帰宅困難者対策として自分の立場、役割分担の意識付、実際の災害に備え訓練で体得していく重要性を確認いたしました。

（下井分署様からの講話）

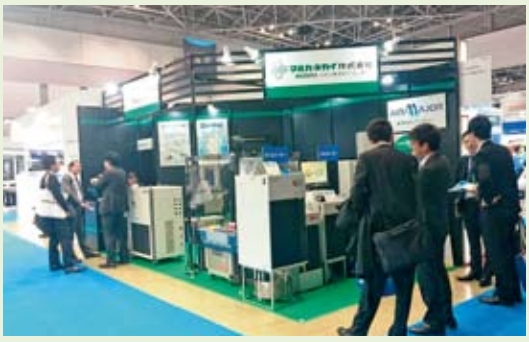
（テナント様と教育DVD視聴中）

機材部・冷温システム部　JIMTOF2016に出展致しました。

機材部及び冷温システム部は、11月17日（木）～22日(火）の6日間、東京ビックサイトにて開催された第28回日本国際工作機械見本市（JIMTOF2016)に出展しました。

JIMTOFは社団法人日本工作機械工業会が主催する2年に一度開催される展示会であり、工作機械及びその関連機器等の内外商取引の促進、国際間の技術交流による産業の発展と貿易の振興を目的としています。毎回多数の来場者を記録し、様々な業種の来場社と出展者との間で活発な商談が行われます。

今回、機材部からは不二越のロボットEZ03及びエアーメジャー製（韓国）の盤クーラー、オイルクーラー、クーラントクーラーを出展。各種冷却システムを販売する冷温システム部からは自社ブランドである水冷却循環装置（チラー）3機種を出展。ロボットEZ03の実演や今回初出展となった新機種の小型チラーは、来場者様から沢山の注目を浴びました。


（マルカブースの様子）

MT（マルカ東京）会　MG（マルカゴルフ）会　が開催されました!

東京MT会ではゴルフ大好き社員が春・秋の2回参集し、営業マンの技術だけでなく、お客様とご一緒しても困らない様エチケットマナーやルール体得向上に楽しくラウンドしています。10月2日には晴天の下、山武グリーンCCにて総勢14名の中、バックティーからのティーショットというハンデ付きにもかかわらず、二橋支社長が見事に優勝いたしました。若手の奮闘に期待します。

本社でも第122回MG会を10月22日（土）東条の森CC大蔵コースで開催されベテラン、若手の12人が日頃の腕前を発揮いたしました。優勝は39：39のグロス78の諏訪部長でした。大阪メンバーは、全員奮起します。（幹事）

（MT会）

（MG会）

マルカタイ社　THE GRAND METALEX2016に出展致しました!

マルカタイ社は11月23日(水)～26日(土)の4日間、バンコク近郊のBITECで開催されたアジア最大級の展示会THE GRAND METALEX2016に出展いたしました。

昨年よりも展示会スペースを45%UPし、マルカBoothとしてAUTOMATIONコーナー、SPECIAL EQUIPMENTコーナーと環境コーナー(ENERGY SAVE)の3つのコンセプトとし、ハンドリングロボットと千代田工業のパイプベンダー、Robot Systemの自動Buffing、ダイセイとEurekaの自動測定装置、MorishitaのAnti scale、NMRのパイプテクター、高橋メタルの洗浄機、ヤマトのガス調整器、大進工業研究所の自動ろう付機、大洋金属のスラッジ回収機、Katoのバリ取り、ナストーアのスポット溶接機、矢島技研のNut Feeder Device等を展示致しました。

開催毎に来場者が増え続け、終始活気あふれる中、会期終了までに出展機中3台を成約し無事4日間を終えました。

ご協力頂いたメーカー様に感謝申し上げますとともに、引合い・成約に向け、今後全力で取り組みますので引き続きご支援ご鞭撻を、お願い申し上げます。

(マルカタイ社ブース)

(商談中)

มารูก้าไทย ได้เข้าร่วมงาน THE GRAND Metalex Show 2016

มารูก้าได้เข้าร่วมงานจัดแสดงสินค้าอุตสาหกรรมระดับใหญ่ที่สุดของเอเชียในงาน The Grand Metalex 2016 ที่ศูนย์แสดงสินค้าไบเทค เมื่อวันที่ 23 – 26 พฤศจิกายนนี้ โดยในปีนี้มีพื้นที่แสดงสินค้าเพิ่มขึ้นจากปีที่แล้วถึง45% และบูธของมารูก้าได้นำเครื่องจักรและสินค้าอุตสาหกรรมมาโชว์ในงานโดยแบ่งเป็นหัวข้อดังต่อไปนี้ โซน AUTOMATION, โซน SPECIAL EQUIPMENT, และโซน รักษ์สิ่งแวดล้อม (ประหยัดพลังงาน),ซึ่งมีเมคเกอร์เข้าร่วมแสดงสินค้ากับเรามีดังต่อไปนี้ Handling Robot ใช้คู่บ.Chiyoda-เครื่องดัดท่ออุตสาหกรรม, บ.โรบอทซิสเต็ม-ชุดขัดผิวงานโลหะและงานไม้ ปรับแรงกดอัตโนมัติ, เครื่องวัดขนาดชิ้นงานอัตโนมัติของ บ.DaiseiและEureka, เครื่องดักจับตะกรัน ของบ.Morishita, อุปกรณ์เปลี่ยนโมเลกุลทางเคมีจากสนิมแดงให้กลายเป็นสนิมดำ จากบ.NMR, เครื่องล้างชิ้นงานจาก บ.Takahashi Metal, Regulatorประหยัดแก๊สจาก บ.Yamato, เครื่องเชื่อมแก๊สอัตโนมัติ จากDaishin, เครื่องคัดแยกน้ำมันออกจากน้ำยาหล่อเย็นและเครื่องกรองตะกอนในถังPower Unit จากบ.Taiyoukinzoku, เครื่องลบเศษเกลียวจากงานหล่อและงานเจาะรูของ บ.Katoใช้คู่กับHandling Robot, เครื่องเชื่อมไฟฟ้าแบบSpot จาก บ.Nas Toa, Nut feeder จาก Yajima Giken

ในทุกวันของการแสดงสินค้ามีผู้เข้าชมเพิ่มขึ้นทุกวัน รวมระยะเวลาของการแสดงสินค้า สามารถปิดการขายได้ถึง 3 เครื่องด้วยกัน

สุดท้ายนี้ขอขอบพระคุณถึงทุกเมกเกอร์ที่ให้ความร่วมมือเป็นอย่างดี ต่อจากนี้ไปทางมารูก้าจะพยายามอย่างสุดกำลังในการที่จะรับใบคำขอให้เสนอราคาจากลูกค้าและเพิ่มยอดการขายสินค้าของท่าน และใคร่ขอความร่วมมือจากเมกเกอร์ทุกท่านช่วยเหลือแนะนำในการนำเสนอสินค้าให้กับพนักงานขายของเราต่อไปในภายภาคหน้า

(Thammasak GM記)

JR ジャパンレンタル㈱本社を移転致しました!

国内グループ会社である、ジャパンレンタル㈱/川崎市は、この度旧事務所から少し離れた場所に新社屋を建設し、2016年10月より業務を開始致しました。 事業の拡充化に伴う増員により事務所が手狭となってきた事と近年に懸念される大型地震に対応しうる耐震化された事務所の確保と、業務の拡大に伴う車庫を確保する為桜本車輌センターの整備を図るための本社移転です。

今まで以上に働きやすい環境になり、従業員一同一層の努力を重ねユーザー様へのサービス向上に誠心誠意努める所存でございます。

尚、従来からの「わ」ナンバーのレンタカー(高所作業車)の貸渡し業務に就いては、更に充実した車輌を準備しながら桜本車輌センター及び千葉営業所にて引続き営業を行っております。今後も柔軟な発想と時代の変化を的確にとらえ、高所作業車とクレーンのレンタル・リースでユーザーニーズに応える会社へと成長するためにも今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新事務所：〒210-0813　川崎市川崎区昭和2-13-3
TEL.044(288)5323(変更ございません)
FAX.044(266)5350(　〃　)
URL：http://www.japanrental.co.jp/

Skylift S56XR作業現場

大型高所54m50m作業中

マルカグループ　㈱管製作所（山形県天童市）新工場地鎮祭が執り行われました!

（正面最前列左3人目より古頭会長様、管社長、弊社　真鍋取締役、飯田取締役）

当社国内グループ会社の洗浄機メーカー㈱管製作所の新工場地鎮祭が、11月1日（火）午前11時より山形県護国神社豊島宏行宮司様により執り行われました。

地鎮祭は管社長はじめ関係者、当社からは真鍋取締役、飯田取締役が、管製作所協力会からは(有)シズカ技研の古頭会長様にご臨席頂きました。

完成予定は来年の4月30日（日）の予定で、場所は天童市荒谷西工業団地内で工場・事務所は従来の2.6倍の広さになります。

（管社長による斎鍬）

工場は現在フル稼働に近い状況のため、人員も増強し、内製比率を上げ生産性を上げ、国内洗浄機シェアの向上、開発力のスピードUP、北米での洗浄機の現地メンテナンスや営業体制を構築し、ユーザー様の要望に応じた生産ラインを築くターンキービジネスも始める計画です。

洗浄機や専用機のお問い合わせについてはマルカキカイ㈱産業機械部門へ是非ご連絡の程お願い致します。

管製作所　加工課 斎藤社員が『やまがた技能五輪アビリンピック2016』に出場しました!

10月22日（土）に山形県にて技能五輪が開催され弊社加工課斎藤大嗣(22)選手がフライス盤種目に出場しました。山形で開催ということもあり、4年前から練習に打ち込んできた斎藤選手に技能五輪に対する思いと、今後の展望を聞きました。

Q1：技能五輪に挑戦しようと思ったきっかけは？

A1：今回山形で技能五輪が開催されるにあたり、社長から勧められ技能面、精神面で加工をする上での段取りを勉強できるきっかけとなると思い、挑戦しようと思いました。

Q2：練習で心がけていた事は？

A2：次に自分が何をしなければいけないか、先の工程を考え行動、工具の段取りをする事。穴の芯出しを素早く正確に行う事を心がけてました。

Q3：技能五輪を終えて今後の目標と課題

A3：競技を終えて一安心しました。目標としては技能五輪のような難しい図面の加工でも、後輩達に指導できるようになりたいです。今後の課題は誰が見ても綺麗と言われるような面取りを心がけていきたいです。

（インタビュアー：営業技術　秋葉(幸)）

（競技中の斎藤選手）

（完成検査を受ける斎藤選手）